

重点事務事業進行管理表

年度	令和5年度	No.	4	進行管理者	子ども家庭部長
事務事業名	子育て家庭支援事業（出産子育て応援事業）				
事業の概要	出産・育児等の見通しを立てるための面談や継続的な情報発信を行うことを通じて必要な支援につなぐ伴走型相談支援と、妊娠届出や出生届出を行った妊婦等に対し出産育児関連用品の購入費等の負担軽減を図る経済的支援を一体として実施する事業				
これまでの経過	<ul style="list-style-type: none"> ・各種様式等の決定 ・令和4年度補正予算及び令和5年度当初予算における事業経費の計上 ・必要物品等の購入 				
本年度の予算措置	総事業費	100,530千円		うち 一般財源	1,106千円
本年度の目標	令和5年4月から、伴走型支援として妊娠届出時等の各種面談を行うとともに、経済的支援として出産・子育てギフトを支給する。				
上半期の計画と実績	計 画	<p>【伴走型支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妊娠届出面談及びこんにちは赤ちゃん面談の開始（4月） ・インターネットを用いた面談の環境整備（4月～5月） ・妊娠8か月面談の開始（5月） <p>【経済的支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出産・子育て応援ギフトの配布開始（4月） ・遡及支給対象者に対する申請書等の送付（4月～5月） ・死産・流産等をされた方に対するギフトを現金支給するため6月補正予算に計上（4月～6月） ・遡及支給対象者に対する出産・子育て応援ギフトの配布（5月～6月） 		実 績	<p>【全般】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業実施要綱施行（4月） <p>【伴走型支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妊娠届出面談及びこんにちは赤ちゃん面談の開始（4月） ・Web会議システムライセンス契約（4月） ・オンライン面談用SIM契約（5月） ・妊娠8か月面談の受付開始（9月） <p>【経済的支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出産・子育て応援ギフトの配布開始（4月） ・遡及支給対象者に対する申請書、ギフト等の送付を開始（4月～5月） ・死産・流産をされた方に対するギフトを現金支給するための補正予算計上及び要綱改正（6月～7月）

下半期の計画と実績	計画	<ul style="list-style-type: none"> ・伴走型支援の継続実施（10月～令和6年3月） ・経済的支援の継続実施（10月～令和6年3月） ・次年度の事業実施にいかすため、問題点や課題等を整理（令和6年1月～3月） 		実績	<ul style="list-style-type: none"> ・伴走型支援の継続実施（令和5年10月～令和6年3月） ・経済的支援の継続実施（令和5年10月～令和6年3月） ・問題点や課題等を整理（令和6年3月） 	
		達成度	目標以下 ・ 目標どおり ・ 目標以上			
中間評価	取組の成果	8か月面談について、Web会議システム契約後の初期設定や東京共同電子申請・届出サービス関連事務等に時間を要したが、おおむね目標どおり計画を実行できている。 なお、上半期の出産・子育て応援ギフト配布人数は次のとおりである。				
		ギフト種別		令和4年度出生（遡及）分	令和5年度出生分	
		出産応援ギフト		（妊娠5万円）378人	（妊娠5万円）101人	
		子育て応援ギフト		（出産5万円）384人	（出産10万円）106人	
期末評価	取組の成果	達成度				
		目標以下 ・ 目標どおり ・ 目標以上				
		上半期に確立した運用体制を基に、おおむね目標どおり計画を実行できている。 なお、令和5年度の出産・子育て応援ギフト配布人数は次のとおりである。				
		ギフト種別		令和4年度出生（遡及）分	令和5年度出生分	
		出産応援ギフト		（妊娠5万円）379人	（妊娠5万円）524人	
子育て応援ギフト		（出産5万円）385人	（出産10万円）293人			
事業費の実績	事業費の実績	総事業費	61,518千円	うち 一般財源	0千円	
		今後の方針	本事業は、妊娠期から出産・子育て期まで一貫して相談できる体制を構築し、全ての妊婦及び子育て家庭が安心して出産・子育てできる環境を整備するために重要なものであり、今後も継続して実施する。			

（日本産業規格A列4番）